風と樹の詩（うた）

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園
砂町友愛園養護部 施設長 河上準一
〒198-0172　東京都青梅市沢井 1-506
☎0428-78-8388　fax0428-78-9104
http://www.sunamachi-yuaien.or.jp/
2023 年　秋号

施設職員を続けて思う事

都型グループホーム リーダー　川鍋 拓哉

つい先日まで夏のように暑かった日々も終わり、急に肌寒くなってきましたね。急激な気温差で体調管理するのが大変になってきましたが、半袖半ズボンで元気に過ごしている子どももおり、子どもの元気さには日々圧倒されています。

私はこの仕事に就いて 14 年目になりますが、ここまで続けてこられたのも日々の子どもの成長を身近に感じられるということが挙げられます。また、卒園した子どもと久々に会った際に施設生活での色々な思い出を笑い話として話したり、言動や行動が大人になった姿を見て、さらなる成長を感じられた時に私が行っていた支援がその子どもにとって良かったのだと実感でき、やりがいにもなっています。

そして、現在私はユニットリーダーとして担当児童の援助の他に後輩職員とコミュニケーションをとり、意見や気持ちを話しやすい環境作りを目指しています。これは私自身が新人職員の頃、先輩職員や同期職員に不安な気持ち等聞いてもらい、時にアドバイスも貰うことで気持ちも楽になった経験からきており、当たり前のことだと思いますが、とても重要な事でもあると私は考えています。

仕事を長く続けるのも子どもにより良い支援が出来るのも私たちが気持ちに余裕を持つことが必要となり、不安な事を一人で抱え込まないということが重要にもなってくるので、今後も話しやすい環境作りに励んでいきたいと思います。

信頼される施設職員を目指して

本園 ユニット職員　石原 くるみ

4 月に砂町友愛園の職員として仲間入りさせていただいてから、半年以上が経ちました。いくつかの行事を経験し季節も変わりましたが、この半年間は長いようであっという間だったと感じます。

まずは、子どもとのより良い関係性の構築を目指したいと思い、自分なりに子どもと過ごす時間を大切にしてきました。上手くいかないことばかりで、何事も必死に模索している日々ですが、先輩方や子ども達から沢山の気付きや学びをもらっています。チームによる支援や連携の大切さも実感し、施設職員としてだけでなく、人間として成長できる環境だと改めて感じています。

そして、子どもと他愛もない話をする時間を過ごすことや子どもが頼りにしてくれることが嬉しかったり、昨日は書けていなかった平仮名を書けるようになっていて成長を実感したりと、日常の中の些細なことも大きなやりがいや喜びです。

今後へ向けて、子どもや共に働く職員の方々から信頼される存在で在りたいと思っています。また、自分自身が抱える責任の重大さを自覚し挑戦する姿勢を忘れずにいたいです。

夏から秋にかけての出来事

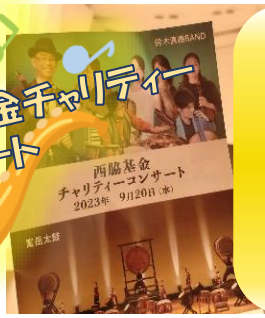
千葉県南房総市へ 臨海

コロナウイルスの情勢を踏まえ、ここ数年開催が見送られていた夏の恒例行事である「臨海」ですが、今年は 7 月に感染症対策を万全にした上で無事行うことが出来ました。夏休みの子ども達と千葉の海に 2 泊 3 日の旅行へ。海では思い切り泳いだり、生き物を捕まえて観察したりして過ごし、宿ではビンゴ大会をしたり、カラオケをしたり、美味しいお食事を目いっぱいいただきました。皆で花火もして、各場面で子ども達のキラキラとした笑顔がたくさん見られる 3 日間となりました。4 年ぶりという事で、子どもも職員も初めて臨海に参加するメンバーが多かったのですが、初参加のメンバーは新鮮な気持ちで、久しぶりに行くことが出来たメンバーは懐かしい気持ちで、それぞれ楽しい夏の思い出を作ることが出来ました。帰ってくると子ども達からは「来年も行きたい！！」「来年はもっと泳ぎたい！！」等の声が上がり、子ども達にとっても良い経験になったようです。

東京都信用組合協会さまのご支援により、以前のように慣行することができました！▶

現地の丸美食堂さまより、サプライズでとても大きなスイカをいただきました！▶

西脇基金チャリティーコンサート



去る 9 月 20 日、なかの ZERO 大ホールにて開催された西脇基金チャリティーコンサートに行ってきました。西脇基金は児童養護施設から巣立ち、大学等へ進学する児童に修学に要する費用を給付する事業を行っています。例年、同時期にコンサートを開催しており、今年もアンサンブルそして富岳太鼓と華やかなプログラムを鑑賞させていただきました。

10 月末には各ユニットでハロウィン行事を楽しみました。仮装や部屋の飾り付けはもちろんのこと、みんなで協力してお菓子作りをしたり、宝探しでお菓子をゲットしたりと、それぞれの楽しみ方でハロウィンの文化に触れました。

赤い羽根共同募金活動報告

10 月 7 日、市内にて活動しました。合計 54,322 円を募金いただきましたので、東京都共同募金会に送金させていただきました。

ご協力ありがとうございました。

子どもたちの日常

秋の自然に触れて遊ぶ子どもたちの様子をお届け！　普段何気なく見ている落ち葉も子ども達の手にかかれば遊び道具に大変身！　空中に投げて舞い落ちる葉っぱの動きや音を楽しんでいました。

七五三

11 月 11 日に七五三のお祝いを行いました。着物を着て近所の神社でお参りをし、園で茶話会を行いました。いつも外遊びでは走り回って元気いっぱいな子どもも、着物を着ると一気にお上品な女性に近づきますね。また、着物の手毬は、子どもの健やかな成長や幸せな人生のシンボルとなる柄です。これからも元気にすくすくと成長していって欲しいと願います。

三田地区文化祭

11 月 5 日に開催された三田地区の文化祭で子ども達の作品を展示しました。この日に向けて、子ども達が学校や園で作った作品を募集し、たくさんの個性豊かな作品が集まりました。来年も多くの方に見ていただければと思います。

感謝祭

コロナ禍は縮小傾向にあった感謝祭ですが、今年度は本園園庭にみんなで集まり食事をすることができました。今回のメニューはうどんが「きつね・けんちん・カレー」の 3 種、切り餅は「焼海苔・甘口醤油・きな粉・あんこ・大根おろし」の 5 種とたくさんありました。それぞれ色々な味を楽しんでいましたが、司会者の「SDGs です！」というアナウンスに従って、配られた食器一式をうまく使ってくれていました。ちなみに、白菜と小松菜は子ども達が前日に本園の畑で収穫してくれた新鮮なお野菜でした。

キャリアアップのための取組み

チームとして協働する

都型グループホーム 職員　石井 祐樹

9 月 12 日に、一般社団法人 MHC リサーチ＆コンサルティング代表理事の田村三太講師をお招きして「チームビルディング、チームマネジメント」について研修が行われました。研修の中では、チームワークとは何かという所から始まり、チームで取り組むべき課題への考え方、よりチームワークを発揮する為のスキルについての話しもありました。

私たちは普段ユニットごとに数名の職員でチームを組んで子どもの支援にあたっています。子どもの安心できる生活環境を作るにはユニット担当同士が協働しなければなりません。良いチームとは何か、チームとして協働していく為に必要なものとは何か。子どもにとって最善の支援をするにあたってそれを改めて考える良い機会になりました。

▼ チームマネジメント研修の様子 ▼
東京都社会福祉協議会による
登録講師派遣事業を活用して行いました

ペアレントトレーニング

国型グループホーム 職員
羽賀 友香

当施設では新任職員と 2 年目職員を対象として、ペアレントトレーニングという施設内での研修が設けられています。各ユニットの職員が集まり、実際の事例を基にして、一緒に子どもへの対応方法を模索し、より実践的なテクニック等の活きた知識を共有できる場です。また、その際にはペアレントトレーニングを卒業した先輩方にも参加していただくこともあり、よりよい今後の支援に繋がるような具体的なアドバイスをいただける機会でもあります。

子ども対応や支援での悩み等をユニットを越えて共有することができ、とても心強いなと感じるとともに、自分自身の知識や、支援の引き出しを増やす事にも繋がっています。月に一回程度、短時間で行われるこの研修ですが、意見交換をする貴重な場として、とても大切な役割を担っています。

番外編　子どものお弁当作りもパワーアップ？！

小中学生は行事の時に、高校生は毎日お弁当です。お弁当作りも、どんどん上達するようです。上記「チームとして協働する」を書いた石井職員が作ったお弁当もこの中にあります！▼

ご　案　内

令和5年度　クリスマス祝会に関するお知らせ

恒例のクリスマス祝会ですが、昨年度に引き続き在園児のみでの開催とさせていただきます。なお、20 歳になる卒園児を招待して、懇親会を計画しています。詳細は別途ご連絡いたします。

社会的養護総合情報サイトチャボナビを利用しています

施設見学会
（毎週火曜日）
オンライン座談会
（毎週土･日曜日）
それぞれ開催中！

様々な社会的養護施設が紹介されています。当施設では左記のイベントを開催しています！サイトより「砂町友愛園養護部」を検索してお申込みください。

Instagram 更新しています！

SUNAYU_YOUGO

園内の様々な出来事を発信しています📷「風と樹の詩」には収まり切らない情報をたくさん載せています。ぜひアクセスし、よろしければフォローもお願いします☆